

第9回日展

第2科（洋画） 特選授賞理由

題名

白昼の階段

授賞理由

良い絵にはその人らしさが画面から出ています。日常の風景に想いを託したこの作品には、人を慈しむ優しい目線があります。「原風景を通して人を描く」という作者の試みは、これからの世代を担う大きな可能性を示しています。

作者名

飯塚康弘

題名

命脈

授賞理由

麻袋とジャガイモを配し、画面の中に的確に質感を追求。過ぎゆくものに対する深い哀愁が画面の中で展開され、確実に流れていく時間の重みを伝え、静寂な中に深い精神的な空間が表現された作品となっている。

作者名

永谷光隆

これから

授賞理由

朽ちかけた椅子が不在性や時間を暗示している。絵画の題材になりにくい情景を描きながら、リアリティあふれる描写と細密な表現力で、コロナ禍の現代への不安や若者の今後に賭ける意欲などが込められた力作。

住井ますみ

騎士達へのいざない

授賞理由

森の中を散策していた折、突如として、この朝陽の目映い光と、それに歴史感も加わった石造りの古城に感動し、その気持ちが練りに練った構成に表れており光と空気感、そして凜とした完成度の高い作品と評価しました。

中西 敦

Get Running!

授賞理由

美しい色彩と動きを感じる画面構成は、明るい未来に向って行く予感と希望を感じさせる作品である。

関野智子

生

授賞理由

身近にある静物をアトリエに配して構成的に描いている。以前は静かな表現であったが、近年はコントラストを生かした張りのある力強い雰囲気が出てきている。今回の作品は授賞に値する作品になった。

橋本弘幸

冬の海

授賞理由

東北の人間にしか描けない作品である。北国の厳しい風景を追求して長い。魅力ある作品は作者の人間性にも通じる。苦しみが多い中でも描き続ける姿勢と作品には共感することが多い。すばらしい作品としてあらわれた。

高田啓介

人形つかい' 22

授賞理由

外国人の大道芸人が一生懸命に芸を披露する姿を通して、作者の制作に対する意気込みが感じられる。画面構成、力強い描写力は長年の努力による独自の表現となっている。内なるパワーが画面全体から感じられる秀作である。

樋口文子

海想

授賞理由

作者は海辺に生まれ育ち、日展作品は全て海のモチーフを一貫して描いてきた。古典技法を研究し、緻密な仕事により質感、臨場感とともに豊かな情景、海に対する想いを深く真摯に伝えている佳作である。

竹内 恵

天下晴れて

授賞理由

卓越した色彩感覚と優れたデッサン力、洗練された表現力の持ち主である。大らかな筆致で日常の美しい瞬間を見事に切り取った佳作である。次代の日展を担う、若い世代のホープとしての役割を期待している。

吉成浩昭